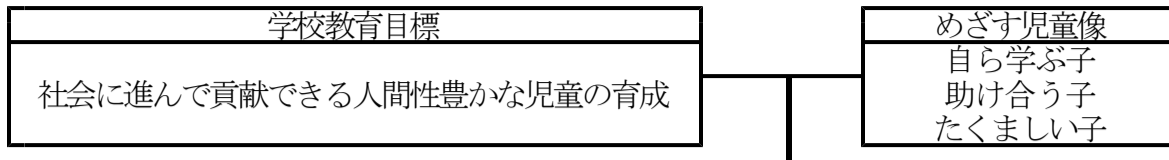


# 令和6年度 江原南小学校 学校評価総括表

令和7年3月3日 美馬市立江原南小学校



※ 評価 A (十分に達成) B (ほぼ達成) C (やや課題が残る) D (かなり課題が残る)

## 重点目標1 基礎的・基本的な知識・技能を身につけ、「書く」「話す」力を育てるとともに、見通しをもって意欲的に学習する児童を育てる。

具体的方策	児童の自己評価アンケートの結果	評価	達成状況○ と次年度の展望◎																																																
<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字・計算学習の確認テストを行う。</li> <li>タブレットPCを活用し、ドリル学習を行う。</li> <li>学習活動や日記指導では、主語と述語の関係や既習漢字の指導を行い、言葉の使い方を意識させ表現させる。</li> <li>最後まで話をしっかりと聴く習慣を身につけさせる。「あったかもよ〜そで聴こう」</li> <li>自力解決の時間を確保し、自分の考えを明確にできるように、「書く」場面を増やす。</li> <li>ホワイトボードやICTを効果的に活用した発表や話し合い活動をさせる。</li> <li>「家庭学習の友」や「家庭学習充実週間」を活用し、家庭連携を図る。</li> </ul> <p><b>評価基準</b>                      年度末ふりかえりアンケートで、「自分の考えを文章に書いたり、分かりやすくまとめて発表できた」と回答する児童が、全校75%以上をめざす。</p>	<p><b>7. 授業中は、自分の考えを文章に書いたり、発表したりしている</b></p> <table border="1"> <caption>7. 授業中は、自分の考えを文章に書いたり、発表したりしている</caption> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>そう思う</th> <th>だいたいそう思う</th> <th>あまりそう思わない</th> <th>そう思わない</th> <th>分からない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>7</td><td>33.1</td><td>42.4</td><td>15.2</td><td>7.1</td><td>2.2</td></tr> <tr><td>6</td><td>13.2</td><td>60.5</td><td>18.4</td><td>5.3</td><td>2.6</td></tr> <tr><td>5</td><td>27.5</td><td>47.5</td><td>15.0</td><td>7.5</td><td>2.5</td></tr> <tr><td>4</td><td>34.3</td><td>45.7</td><td>11.4</td><td>5.7</td><td>2.9</td></tr> <tr><td>3</td><td>32.4</td><td>50.0</td><td>14.7</td><td>0.9</td><td>0.9</td></tr> <tr><td>2</td><td>27.0</td><td>35.1</td><td>21.6</td><td>10.8</td><td>5.4</td></tr> <tr><td>1</td><td>64.1</td><td>15.4</td><td>10.3</td><td>0.0</td><td>10.3</td></tr> </tbody> </table> <p>児童アンケートは、肯定的な回答75.4%、否定的な回答17.4%であった。昨年度の肯定的な回答より2.6ポイント減少、否定的な回答は±0であった。保護者アンケート「子どもたちには、学年に応じた学力が身につけてきている。」の項目について、肯定的回答をした保護者の割合は79.9%であった。昨年度より4ポイント減少していた。児童と保護者ともに、目標数値はクリアすることができたが、前年度より下がっている。</p>	学年	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	7	33.1	42.4	15.2	7.1	2.2	6	13.2	60.5	18.4	5.3	2.6	5	27.5	47.5	15.0	7.5	2.5	4	34.3	45.7	11.4	5.7	2.9	3	32.4	50.0	14.7	0.9	0.9	2	27.0	35.1	21.6	10.8	5.4	1	64.1	15.4	10.3	0.0	10.3	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「そう思う」「だいたいそう思う」を合わせると、75.4%が肯定的な回答をしており、一定の効果が感じられる。</li> <li>○タブレットPCを活用したドリル学習等は、自発的に行う姿があり、一定の効果が得られている。</li> <li>○低学年の児童においては、基礎的・基本的な知識・技能が身につくにつれ、学年が上がるにつれ、その知識・技能を使いこなすまでに至らない児童が多い。</li> <li>○高学年では、「そう思う」が減り、「だいたいそう思う」の割合が増えているので、学習そのものへの興味関心や課題に対する達成感が減っている様子もみられる。</li> <li>◎今後、知識・技能が身につくにつれ、児童に対する対応が必要になると考える。漢字や計算学習を繰り返し行い、知識・技能の習熟を図る。それとともに、課題に対して、最後まで粘り強く取り組むことができる児童を育てるために、課題に向き合える時間を確保する。さらに、「自ら学習に取り組めるような興味付けができるよう、「学習の質を高める」方策を行っていく。</li> </ul>
学年	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	分からない																																														
7	33.1	42.4	15.2	7.1	2.2																																														
6	13.2	60.5	18.4	5.3	2.6																																														
5	27.5	47.5	15.0	7.5	2.5																																														
4	34.3	45.7	11.4	5.7	2.9																																														
3	32.4	50.0	14.7	0.9	0.9																																														
2	27.0	35.1	21.6	10.8	5.4																																														
1	64.1	15.4	10.3	0.0	10.3																																														

## 重点目標2 「やさしくん・ともわちやんの心」を大切にしながら、いじめを許さない、優しく強い心を育てる。

具体的方策	児童の自己評価アンケートの結果	評価	達成状況○ と次年度の展望◎																																																
<ul style="list-style-type: none"> <li>みまこ宣言や、やさしくんともわちやんの精神を「いいことみつけたよカード」等を通して、日常生活の中で自分も友だちも大切にすることを育てる。</li> <li>多様な体験活動や道徳の時間、日々の生活などを通して、思いやりの心を持たせる。</li> <li>学力の向上を図り、学年に応じた人権についての正しい知識を身につけさせる。</li> </ul> <p><b>評価基準</b>                      年度末ふりかえりアンケートで「友だちの悪口をいったり、いじめたりせずに、友だちとなかよく生活している」と回答する児童が、全校90%以上をめざす。</p>	<p><b>1. 友達の悪口を言ったり、友達をいじめたりしないで、友達と仲良く生活している</b></p> <table border="1"> <caption>1. 友達の悪口を言ったり、友達をいじめたりしないで、友達と仲良く生活している</caption> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>そう思う</th> <th>だいたいそう思う</th> <th>あまりそう思わない</th> <th>そう思わない</th> <th>分からない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>7</td><td>73.5</td><td>22.0</td><td>1.8</td><td>0.4</td><td>0.4</td></tr> <tr><td>6</td><td>57.9</td><td>36.8</td><td>0.5</td><td>3.0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>5</td><td>77.5</td><td>22.5</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>4</td><td>60.0</td><td>34.3</td><td>5.7</td><td>0.0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>3</td><td>82.4</td><td>14.7</td><td>0.9</td><td>0.9</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>2</td><td>81.1</td><td>13.5</td><td>2.0</td><td>0.7</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>1</td><td>82.1</td><td>10.3</td><td>2.6</td><td>2.6</td><td>0.0</td></tr> </tbody> </table> <p>児童アンケート肯定的な回答95.5%、否定的な回答3.1%であった。昨年度の肯定的な回答よりも4.9%増加、否定的な回答は3%減少した。保護者アンケート「人権課題学習をはじめとした、人権意識を高めるための指導がされている」の肯定的な回答をした割合は89.5%であった。昨年度より、2.9%増加していた。また、「決まりを守り、善悪の判断ができるなど、道徳性を高めるための指導がされている」の肯定的な回答は90.5%であった。昨年度より、3%増加した。児童と保護者ともに、目標数値をクリアすることができた。</p>	学年	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	7	73.5	22.0	1.8	0.4	0.4	6	57.9	36.8	0.5	3.0	0.0	5	77.5	22.5	0.0	0.0	0.0	4	60.0	34.3	5.7	0.0	0.0	3	82.4	14.7	0.9	0.9	0.0	2	81.1	13.5	2.0	0.7	0.0	1	82.1	10.3	2.6	2.6	0.0	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童アンケートにおける肯定的な回答が95%を超え、年度当初に立てた90%の目標数値は達成できていた。</li> <li>○「いいことみつけたよカード」等をはじめとする日常的な取組、人権・ボランティア委員会を中心とした「やさしくん・ともわちやんウィーク」等の新しい取組によって、自分も友だちも大切にすることを育まれた。</li> <li>○学年便りの人権コーナーへの記事の記載や、人権の参観日を行ったことで、学校の取組に対する保護者の理解が深まった。</li> <li>◎人権・ボランティア委員会を中心とした「いいことみつけたよカード」等の取組を続けていく。</li> <li>◎「きみのこと教えてシート」を今後も活用し、児童理解を深めるとともに、問題の早期発見・早期解決につなげる。</li> <li>◎縦割り班や異学年への読み聞かせ活動を通して、子ども相互の結びつきを強める。</li> <li>◎保護者と共に入権について学ぶ機会を通じて、保護者とともに学び、連携して、児童の人権意識を高めていく。</li> </ul>
学年	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	分からない																																														
7	73.5	22.0	1.8	0.4	0.4																																														
6	57.9	36.8	0.5	3.0	0.0																																														
5	77.5	22.5	0.0	0.0	0.0																																														
4	60.0	34.3	5.7	0.0	0.0																																														
3	82.4	14.7	0.9	0.9	0.0																																														
2	81.1	13.5	2.0	0.7	0.0																																														
1	82.1	10.3	2.6	2.6	0.0																																														

## 重点目標3 年間を通して運動の機会を作り、自ら進んで運動に取り組み、安全に生活する態度を育てる。

具体的方策	児童の自己評価アンケートの結果	評価	達成状況○ と次年度の展望◎																																																
<ul style="list-style-type: none"> <li>遊具検定、水泳検定、なわとび検定、等こより、年間を通して運動の目標を持たせる。</li> <li>業間休み、昼休みの外遊びを推奨する。</li> <li>始業前の運動場遊びの時間を設ける。</li> <li>体育の時間の運動量を確保し、基礎体力向上を図る。</li> <li>安全に関する指導を充実し、安全への意識を高める。</li> <li>生活習慣改善プロジェクト「のびのび教室」による個別指導を実施する。</li> </ul> <p><b>評価基準</b>                      年度末ふりかえりアンケートで「休み時間や体育の時間には、しっかりと体を動かしている」と回答する児童が全校85%以上をめざす。</p>	<p><b>4. 休み時間や体育の時間には、体を動かして運動している</b></p> <table border="1"> <caption>4. 休み時間や体育の時間には、体を動かして運動している</caption> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>そう思う</th> <th>だいたいそう思う</th> <th>あまりそう思わない</th> <th>そう思わない</th> <th>分からない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>7</td><td>65.4</td><td>24.3</td><td>6.3</td><td>3.7</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>6</td><td>42.1</td><td>36.8</td><td>10.5</td><td>5.3</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>5</td><td>65.0</td><td>25.0</td><td>10.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>4</td><td>54.3</td><td>28.6</td><td>8.6</td><td>4.0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>3</td><td>70.6</td><td>23.5</td><td>5.9</td><td>0.0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>2</td><td>75.7</td><td>21.6</td><td>2.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>1</td><td>84.6</td><td>10.3</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td></tr> </tbody> </table> <p>児童アンケート肯定的な回答89.7%、否定的な回答8.5%であった。昨年度の肯定的な回答より3.3%増加、否定的な回答が3.1ポイント減少していた。学年によっての違いはあるが、運動を好んでいる傾向が見られた。保護者アンケート「子どもは学年に応じた体力が身につけてきている」の項目について肯定的な回答した割合は79.9%で、昨年度より4%減少していた。児童の目標数値はクリアできたが、保護者の目標数値はクリアできなかった。</p>	学年	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	7	65.4	24.3	6.3	3.7	0.0	6	42.1	36.8	10.5	5.3	0.0	5	65.0	25.0	10.0	0.0	0.0	4	54.3	28.6	8.6	4.0	0.0	3	70.6	23.5	5.9	0.0	0.0	2	75.7	21.6	2.0	0.0	0.0	1	84.6	10.3	0.0	0.0	0.0	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童アンケートにおける肯定的な回答が、年度当初に立てた85%の目標数値を超えている。</li> <li>○目標をもって運動に親しんだり、友だちを誘って安全に遊んだりする姿が見られた。</li> <li>○教員が休み時間と児童と一緒に遊ぶことで、外遊びへの意欲が高まった。教員にとっても、運動時の見守りにつながった。</li> <li>○体育館を開放することにより、運動に参加する児童が増えた。</li> <li>◎家庭での運動週間を身につけることができるよう、アンケートや各種調査結果を家庭と共有し、連携を深める。</li> <li>◎各種検定や運動週間の設定を見直し、年間を通して各自が無理のない運動の目標を持つことができるようにする。</li> <li>◎生活習慣改善プロジェクトとも連携して、運動習慣の改善を図る。</li> </ul>
学年	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	分からない																																														
7	65.4	24.3	6.3	3.7	0.0																																														
6	42.1	36.8	10.5	5.3	0.0																																														
5	65.0	25.0	10.0	0.0	0.0																																														
4	54.3	28.6	8.6	4.0	0.0																																														
3	70.6	23.5	5.9	0.0	0.0																																														
2	75.7	21.6	2.0	0.0	0.0																																														
1	84.6	10.3	0.0	0.0	0.0																																														

●「重点目標1」について

学校の自己評価への評価  妥当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価は、評価基準から鑑みて、「B」が妥当だと判断できる。</li> <li>・授業の中で、いろいろな工夫をしながら学習に取り組んでいるのがよく分かり、児童も肯定的な回答が多くなっている。今後もこのような取組をお願いしたい。</li> <li>・全般的に着実な児童観のもと、年次的な目標を立て具体的に実践させており、先生方による的確な学校としての評価もなされています。</li> <li>・子ども達のもつ、個々の特性や個性による教育の多面性が要求されることは、義務教育のもつ宿命であり、児童期の確立された特性は、一生に渡って有効に機能していることを思えば、見通しをもった訓練は、一人一人を生かすことに通じると思います。</li> <li>・タブレットPCなどの使用で、学習意欲が高まり楽しみながら学ぶというプラスの反面、「書くこと」離れになるとメディアでよく聞きます。書くことから離れた生活をしていると「あの字は？」や「この文章は？」と、頭を悩ますことも多くなります。アンケートのポイント減少ですが、この頃、単語で会話をしたり、言葉の最後をうやむやに話す子が多いように思われます。読書・作文・日記などの学習によって、ポイントが上がることを期待しています。</li> <li>・美馬市図書館館長さんより、ビブリオバトルに是非ご参加くださいとの事でした。</li> </ul>
-----------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

●「重点目標2」について

学校の自己評価への評価  妥当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価は、評価基準から鑑みて、「A」が妥当だと判断できる。</li> <li>・新しい取組を行いつつ、「いいことみつけたよカード」等の取組を続け、保護者と連携し人権感覚を高めることをお願いしたい。</li> <li>・心の世界を具体化し、自覚させ、個性の確立までに育てることは重点目標1と比べて非常に困難です。友達との生活を通して、具体的に自分の考えや思いをもち、自覚し判断する中で、教師や友達よりのサジェスションが心を育てると思います。</li> <li>・児童の話す言葉に「やさしくん・ともわちゃん」がとても大切にされていて、学校生活の中で根付いているんだと感じます。</li> </ul>
-----------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

●「重点目標3」について

学校の自己評価への評価  妥当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価は、評価基準から鑑みて、「B」が妥当だと判断できる。</li> <li>・児童が運動に興味をもち、教員と一緒に遊び、楽しさを共有する工夫を、今後お願いしたい。</li> <li>・それぞれの検定が児童にとって頑張る物差しになっているし、友達とともに努力する目安になっている。体で感じながら向上し頑張ることは、先生方の評価と相関関係があるように思える。児童が自覚しやすいことは、情感などとの関係ができるように思える。</li> <li>・先生方が休み時間、児童とともに遊ぶ時間をつくっておられる事に頭が下がります。休憩も必要ですし、授業の準備等、多忙な中を本当に大変だと思います。高学年になっても数字があまり減っていないのは、そういった先生方の努力のおかげだと思います。</li> </ul>
-----------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

●その他教育活動全般について

<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域的な事情や多様化する社会、不適切な情報の氾濫など、学校教育はご苦労なことです。個人的に拝察しながらも感謝しております。先生方には、心身のリフレッシュをされ、健康に気をつけられ頑張ってください。</li> <li>・毎年書いていますが、運動会がすばらしかったです。各学年の演技等はもちろんです、運営に関わる上学年がしっかり動けていて、全力でがんばる力を感じます。その姿を見て、下学年も育っていくんですね。先生方のご指導の賜だと思います。</li> </ul>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

参考資料及び添付資料

<p>※参考資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校要覧</li> <li>学校運営のしおり</li> <li>学校評価ガイドライン</li> <li>学校評価システムの充実にむけて</li> </ul>	<p>※添付資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童向けアンケートおよびアンケート結果</li> <li>保護者向けアンケートおよびアンケート結果</li> <li>教職員向けアンケートおよびアンケート結果</li> <li>「学校評価アンケート」の結果について</li> <li>学校評価アンケート自由記述について</li> </ul>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------